



# 校長室だより

校長 山崎 聡子

## あいさつ運動を通して

5月下旬に、児童会の企画・運営のもと、あいさつ運動が行われました。児童会の子供たちが襷を付け、全校へ自らが率先して挨拶をするとともに、あいさつ隊の募集を行い、多くの子供たちが参加しました。募集するにあたっては、ポスターを作成して校舎内に貼ったり、チラシを配付したり、手作りバッジを配ったりと様々な活動を工夫して行っていました。児童会の子供たちの思いが全校に広がり、あいさつ運動に多くの子供たちが参加しました。「おはようございます」という朝の元気な挨拶が響き渡り、気持ちのよい朝のスタートをきることができました。歩道橋の上で、いつも子供たちの安全を見守っている教頭の所まで、元気な挨拶の声が聴こえてきたと教頭から話もありました。

あいさつ運動は期間を区切った活動でしたが、朝の挨拶を自分から進んで行う子供たちが増えてきました。私が立っている所まで歩み寄って来て、「おはようございます」と挨拶に来る子供もいます。また、朝の挨拶だけでなく、校舎の中でも「こんにちは」「さよなら」と、子供たちが積極的に挨拶することができるようになってきました。そして、挨拶とともに笑顔も増えてきたと感じます。

挨拶は人と人がつながる第一歩であると思っています。高校時代の恩師から挨拶という漢字の意味を教えていただいたことがあります。挨拶の「挨」は「開く」、「拶」は「迫る・近づく」という意味があること、つまり、挨拶とは、「相手に心を開いて近づくことである」と。恩師は、朝いつも昇降口の所に出

迎えてくださいました。「おはようございます」という挨拶の言葉に、「今日一日あなたが幸せな時間を過ごせますように」という思いものせているということも教えていただき、感動したことを思い出します。一人一人の生徒と目を合わせて笑顔で挨拶をしてくださった恩師の挨拶から元気をいただいたことを大切にしながら、子供たちと挨拶を交わしていきたいと思っています。

児童会の子供たちの企画・運営、そしてあいさつ運動に協力した子供たちに感謝しています。今後も挨拶のあふれる学校をみんなで創っていききたいと思っています。御家庭でも挨拶について、子供たちと話をしていただけたらと思います。

## よりよい学校を目指して

14日(金)に、4年生が校長室に来室しました。ポスターを作ったので、校舎内に貼りたいという話でした。いくつか紹介すると、廊下を走らないよう呼びかけるポスター、病気をしないよう手洗いを呼びかけるポスター、昇降口を出たコンクリート部分は怪我をしやすいため走らないようにしようと呼びかけるポスターなどです。説明をした後に、canvaや手書きで作ったポスターを見せてくれましたが、どれも思いのつまった内容でした。私から、なぜそのような活動をするのかを問うと、「学校のみんなが幸せになるためです」という言葉が返ってきました。子供たちの目指すことがすばらしかったので、ただポスターを貼るだけでなく、全校のみんなが4年生の目指していることが伝わる方法を考えてほしいと伝えました。今後の動きが楽しみです。